



この物語は
〇某家次期当主
「C」とその許婚「S」の
日々の性行為の
記録である――。



「S麻代ちゃん、S麻代ちゃん！
今日はもう遅いから
泊まって行かんね？」

「●魔、また？」

「今日ち回目よ？」

「お泊りは一週間に一回って
約束じゃない。」

「へけっ♪ よなぶあい、よなぶあい。
それにぼっくん、

たまっとりましゅー！

たまきんが重かどぶあい♡」



「今夜もたっぷりと
遊ぶとぶあい♡」

その御曹司の男根は
それはそれは巨根で、
勃起せば一尺は
優に超えていた。

$$R \approx 30.333 \text{ cm}$$

「呟えてクリ、
しゃぶってクリ♪
ぽっくんお部屋まで
ガマン出来ま千円♡」

「……こんな所で……
しようがないわね……。
一回だけだからね！」

その巨大亀の迫力は
雌に対し有無を言わせぬ
貫禄があった。



「へりゃッ!!!
S麻代ちゃん、
ぽつくんの栄養たっぷり
ちんこ汁飲んでクリクリ♪」

「ブッ
!!!?」

ビュッ!!!



「ふ〜、ぽっくん『ジュンジュン〜』を
一日もがまんしとったとでしゅなら、
テンポ☆キツシュ♡されただけで
射精^だしてしまったとぶあい♡
ゆるしてクリクリ♪」

「.....」

「...麻代ちゃん、
怒っふねぶでしゅな〜」

「怒らないわよ。
『ねえ...』」



「…………はい、おしまい。」

外ではございまで！

続きは部屋に行ってからよ……………」。



「服が精子まみれで汚れるから、
いつもの服に着替えたいわ。」

エッチする用の服にね……………」♥



ここは〇某家敷地内…。
その御曹司は
広大な敷地内の一角に
秘密のやり部屋を設けていた。

「服なんてどうでもよか！

早く挿入れたかッッ!!!

S麻代ちゃんのお股に

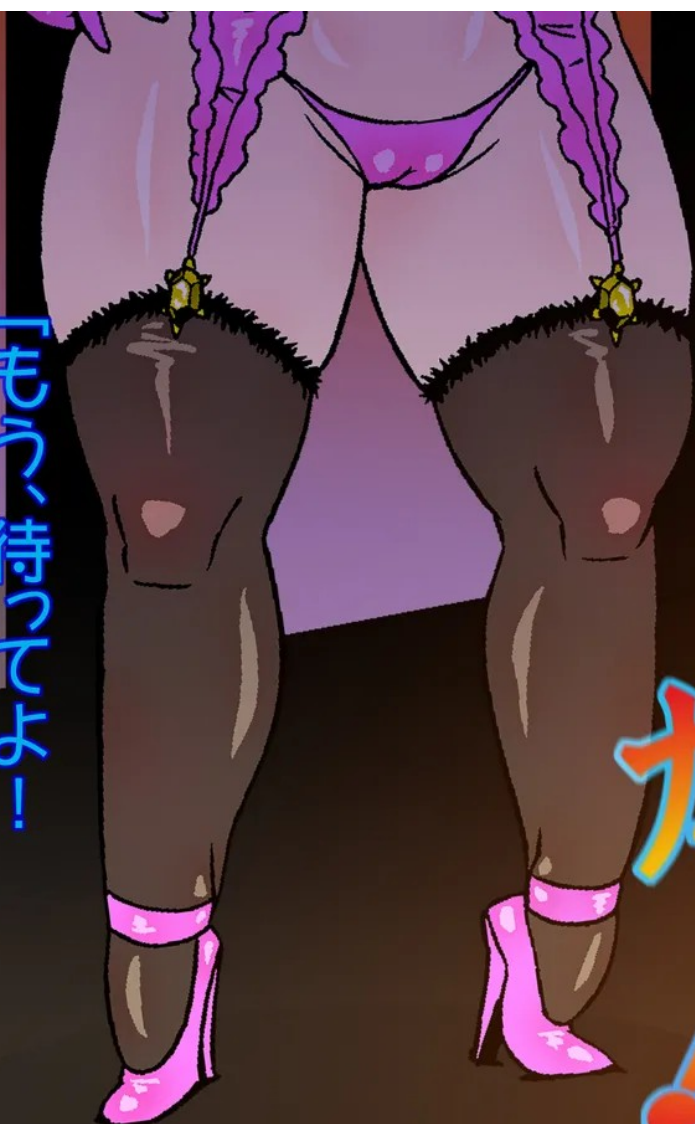
早くちんこ挿入れたかッしゅ!!!!」

カッ!!

「もう、待ってよ！

すぐ着替え終わるから！

……はい、お待たせ。」



「痛か〜！」

ちんこが痛か〜ッ!!!

早く! 早くs麻代ちゃんの

お股♀とエッチンコでガッテン!」

したかとぶあい!!!!!!」

「もう、●魔ったらー!

エッチ丸出したと

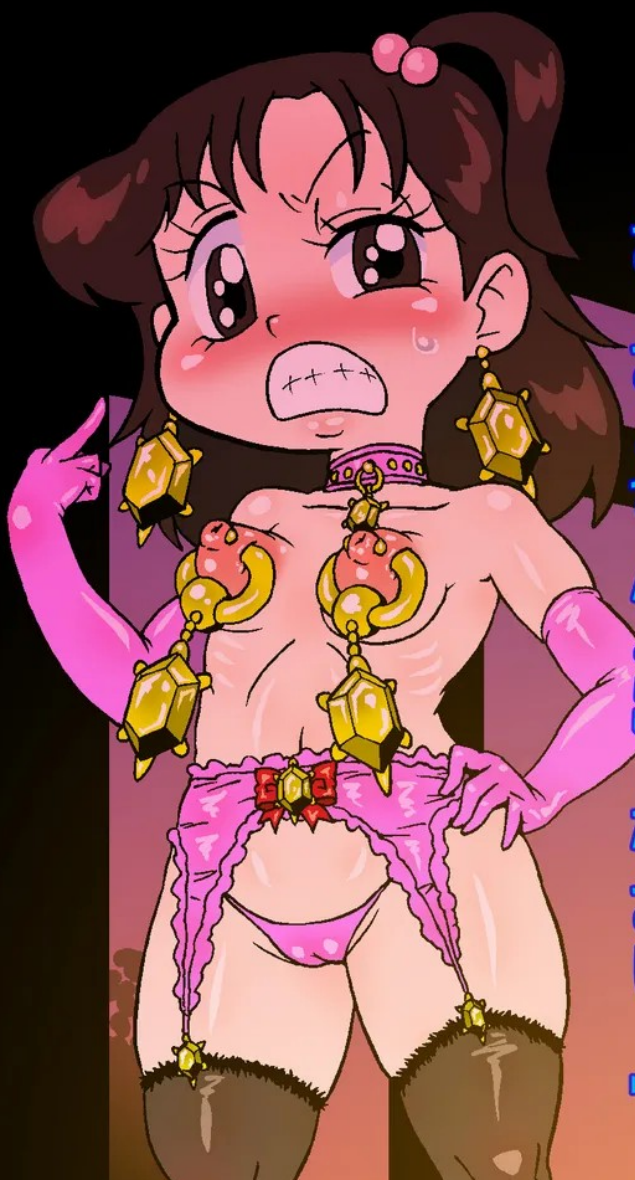
女の子に嫌われるわよ?」



「へけけ。
8麻代ちゃんさえおれば
ぽつくん他に誰もいらん
でしゅぶあい！」

「もう、バカ！」

『だいすきんたま』したげるから
さっさとちんこ出してなさい！」



「べるべるはもうよな!!!
それよりの群代ちゃんのお股…
おまた♀ちゃんこ♂。!!
おまた♀ちゃんこ♂。させてクリ!!!!」

ズモモモ...

「ダメよ!!
こう言うのには
順序があるんだから。」



「ほらー」

ちんこギシギシで♥で
おちんちんキレイに
したらお股♀エッチ♂
させてあげるからー」

「へきやーっしゅ!!!

やったぶあい♪

S 麻代ちゃんのお股！
おまた♀ちんこ♂!!!!



「は〜い、
それじゃあ
いただきます。まん〜♡」

「食ってウリ、食ってウリ」

ぽっくんのおんに

おしゃぶってウリ♡「♡」

おしゃぶ





「早いわね…、
今日は特に。
それにまだ

こんなに
射^で精^{しやう}るの？」

「へけっ！

S麻代ちゃんのお股♀のこと
考えとつたら
辛抱できんかった
とでしゅ♪」



「お股♀になるほつくん
もーっど、いくさでも
射^で精^{しやう}せぬ人はあらう♡」

「お股♪

さ麻代ちゃんのお股♀にちんこ♂
おまた☆ちんこの時間ふあい♡」

「体力はないクセに
こうちの方は
強いんだから…。
でもそこがいい
トコロなんだけど。」

「へむ？」

「なんかなうた
でしゆか？」

「別に！

ちんこだけは一人前
つて言ったのよ！

ちんこだけはね…。」



「くせー」

「ただきお嬢さん」

「よー、
よしッー
来なッー……」





「もう！」

ほとんど毎日……

赤ちゃん出来ても
知らないわよ！」

「へけ！」

さ麻代ちゃんは

バカぶあい♪

結婚もしとらんのに

赤ちゃんなんか

出来るわけなが！」

「……あんた本当にバカね……」

——まあ十月十日後

楽しみにしとくといいわ！」



そして十月十日後。

。

「久しぶりね●魔…。」

「元気してたかしら？」

「へきや〜っしゅ♪
S麻代ちゃん、
半年もどこへ？
ぽっくんさびし
かったとぶあ…」





「へぎやっしゅ!!!
しばらく見んと
思ったら
なんね
そのお腹!!」

子を身ごもっていた

「何ってあんたこの子供に
決まってるじゃない!」

「な……
なんでしゅと……?」

「もうすぐお生まれに
なれますしや。

お歳がお歳ですし
表立って病院で……

と言う訳にも参りませんので

この屋敷でござ出産なされることにな
ったのです。」

「そ……、そんなバナナ……!」



before → after

「おお、でかしたぞ●魔!」

「おめでとございます旦那様。

見事世継ぎを孕ませておいでです。

これで〇某家も安泰ですじゃ。」



「だから責任取ってよね♪」

「しぎやび〜!!!!
そんなバナナ!
なんて骨体!
ぽつくんまだ
女遊びしたかと
ぶあい!!!!」





完













